

令和8年度 第1回 四街道市行財政改革審議会 会議概要

開催日時 令和8年8月3日（月） 13:30～15:00
場 所 四街道市役所 本館1号棟3階特別会議室
出席委員 中村会長、丸岡委員、松野委員、返田委員、添田委員、喜多委員、
森田委員、田島委員、富樫委員
欠席委員 金親委員
事務局 経営企画部：長田部長 荒巻副参事
財 政 課：佐藤課長、金子課長補佐兼行革推進室長、森山主任主事、田丸主任主事
傍 聴 人 0名

会議次第

1. 開 会
2. 市長あいさつ
3. 会長選出
4. 会長あいさつ
5. 議 題
 - ・第9次四街道市行財政改革推進計画（令和7年度）の進捗状況について
6. その他
7. 閉会

議 事

議題 第9次四街道市行財政改革推進計画（令和7年度）の進捗状況について

事 務 局 （説明）

中 村 会 長 質問や意見等はあるか。

添 田 委 員 「N0.3 市税の徴収率の向上」について、市民税及び国民健康保険税の徴収率は、他自治体と比べてどの程度の水準か。また、国民健康保険税の徴収率が、前年度と同程度であるが、かわらない要因がわかれば教えてほしい。

事 務 局 令和6年度決算ベースでの、市民税は、県内54団体中31番目、国民健康保険税は、県内54団体中48番目であった。本市の徴収率は年々上がっているが、他自治体も上がっている。また、国民健康保険税の徴収率については、対象者の性質的に市民税より徴収率が低くなる傾向にある。担当課としては、外国人被保険者への対応で、外国語表記のリーフレットを配布するなど、問題意識をもって取り組んでいる。

喜 多 委 員 「N0.3 市税の徴収率の向上」の国民健康保険税について、構造的、統計的に、徴収率が低いのはわかったが、徴収率を1年で0.5%ずつ向上する目標は、現場に相当なプレッシャーがかかる水準だと思うので、徴収率だけではなく、実際の徴収額など把握し、率だけにとらわれない考え方ももっていただきたい。

事務局 令和7年度は、担当課の努力で目標を達成したが、さらに徴収率を0.5%上げていくのは、チャレンジングな設定であることは認識している。今後の進捗管理の中で、担当課の努力を否定することのないよう丁寧に報告をしていきたい。

田島委員 「N0.6 デジタル化の推進」について、デジタル化を進めた結果、具体的に市民サービスがどのように改善されたのか。時間短縮や経費削減など数値で示せる結果はあるか。また、デジタル化を推進していく中で、どのように高齢者に配慮しているか。あわせて、令和8年度以降に重点的にデジタル化を進める分野はあるのか。教えてほしい。

事務局 昨今スマートフォンが普及したことから、アンケートをデジタルで実施することで、市民がアクセスしやすく答えやすくなったと考えている。また、高齢者への対応については、「苦手な人」と「やり方がわからない人」の2パターンがあり、「苦手な人」については、昨年度まで実施していたスマートフォンの講習会など、「やり方がわからない人」については、従来から引き続き窓口や電話などで適切に対応している。また、今後重点的にデジタル化を進める分野については、四街道市DX推進計画に基づき、行政手続の電子化、市民サービスや業務内でAIを活用できないかなど、デジタル推進課を中心に、複合的に検討していきたい。

田島委員 先日熊本で大きな地震があった。本会議には直接関係ないかもしれないが、職員の数を減らしている中、震度7以上の震災が起こった時の市民対応について、わかる範囲で教えてほしい。

事務局 以前は、行財政改革という、人員を減らすことがメインであったが、最近、国も含めて必要な人員をきちんと確保するように考え方が変わってきている。本市でも、新しい定員適正化計画に基づき、必要な定員を確保するために人員を増やしていくことを目指している。

災害対応については、災害対応体制や市域の広さなどで変わってくると思う。

富樫委員 「N0.6 デジタル化の推進」について、公民館などの施設予約をスマートフォンなどでできれば、市民の利便性は向上し、職員の数を減らすことができると思うので、デジタル環境が苦手な人、使えない人をフォローしながら進めてほしい。

「N0.2 特別会計等の健全化」について、資料への掲載は別として、上下水道料金の改定は、事業継続にあたって必要だと思うが、まずは、経費の節減をした上で、料金改定する流れにしていきたい。

「N0.7 ごみの減量化と資源化」について、1人1日当たりの家庭系ごみの排出量は104.4%ではないか。

事務局 「N0.7 ごみの減量化と資源化」については、去年と同じ計算式ではあるが、会長とご相談して、お示ししたい。

返田委員 「N0.1 事業の見直し等による収支改善の取組」について、企業版ふるさと寄附が大きい額となっているが、今年寄付いただいた企業などへの声かけなどを継続的に行い、寄附の額が上がっていくよう、努力をお願いしたい。また、「N0.3 市税の徴収率の向上」について、「差押などによる滞納処分を強化」と記載されているが、口座引落をもっと案内していただければ、効率的に徴収率も上がると思うので、利用者への案内をお願いしたい。

事務局 企業版ふるさと寄付については、委員ご指摘のとおりであり、いろいろ工夫しながら頑張って参りたい。なお、資料に記載した昨年度の寄付額については、物納分（電気自動車など）を効果額に換算していることを補足する。

市税の徴収率の向上については、担当課としても口座引落の案内をはじめ、納めやすい環境、納め忘れをなくさせる環境を作っていきたいとの考えであり、改めて担当課へ共有したい。

喜多委員 「NO.2 特別会計等の健全化」について、法定外繰出がでないことを目標としているが、法定外繰出がないからよいではないと思う。水道事業が、事業として成り立っていないから値上げをするとか、国民健康保険特別会計が、特別会計内の財政調整基金を取り崩しているのでは一般会計からの繰出がないとか、市民が真実の姿を理解できるような、資料にしたほうが良いと思う。

事務局 一時期、公営企業に対する赤字補填的な法定外繰出によって、一般会計から繰出しをすることが問題となっていたこともあり、法定外繰出に対しては、行財政改革の目標となっていた。委員ご指摘のとおり、考え方を見直す時期なのかもしれない。しかしながら、本計画においては、計画目標として法定外繰出を位置付けているので、計画期間内は、この計画目標としていきたい。なお、上下水道の経営状況までを本シートに記載するのは難しいと思うが、進捗管理を行いながら、次期計画の策定時に、相談させていただきたい。

田島委員 今回の会議では関係ないが、消防本部の建て替えに係る市の見解はどうか。

事務局 消防本部のあり方は、市議会の関心もかなり高く、消防本部庁舎のあり方検討委員会などで議論を進めているところである。

松野委員 使用料の設定について、近隣自治体を見ながら決めていくのか、経費に対する受益者負担として使用料を設定し、施設のインフラ整備などに充てていくのか資料からはわからなかった。また、庁舎の建て替えがうまくいき素晴らしいと思う一方、ごみ処理施設の事業中止、国保や下水道の赤字の話など、先行きが見えないので、見えると安心するのではないか。

事務局 使用料への価格転嫁をもって、施設の整備、修繕や更新をする視点は行財政改革では重要であり、昨今かかっている経費は、本市で最後に料金改定した令和5年10月以降と比べると、高くなっている中で、料金改定の必要性を考えている。しかしながら、令和8年4月の料金改定を見送った経緯があるので、市民の生活状況、近隣自治体の状況などを踏まえ、改めて適切なタイミングを見極めていきたい。

また、ごみ処理施設の事業中止については、土壌汚染などの外的な要因であり、広域化については、関係者との調整を慎重に進めていく必要があるが、市として、喫緊の課題であるという意識はしっかり持ち続けた上で、可能な限り早期実現できるように進めていく姿勢である。

中村会長 他に質問や意見等あるか。

委員 (特になし)

中村会長 それでは、委員の皆さんからいただいた意見を、事務局と協議してまとめさせていただく。まとめさせていただいたものを、委員意見としてよろしいか。

委 員 (異議なし)

中 村 会 長 そのようにする。以上で、議事を終了する。

その他

事 務 局 審議会からの意見については、本日いただいた意見を基に中村会長と調整を行う。その後、審議会意見の入った進行管理シートを確認していただく予定である。最後に、本日の議事録については、後日送付させていただくので確認をお願いしたい。

以上で、令和8年度第1回四街道市行財政改革審議会を終了する。